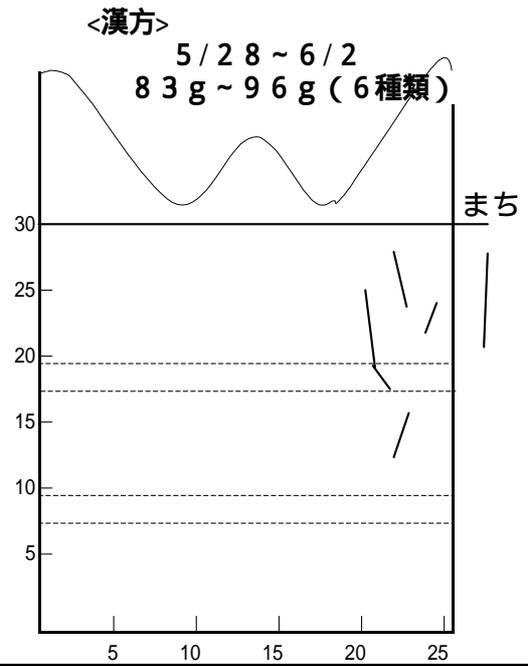
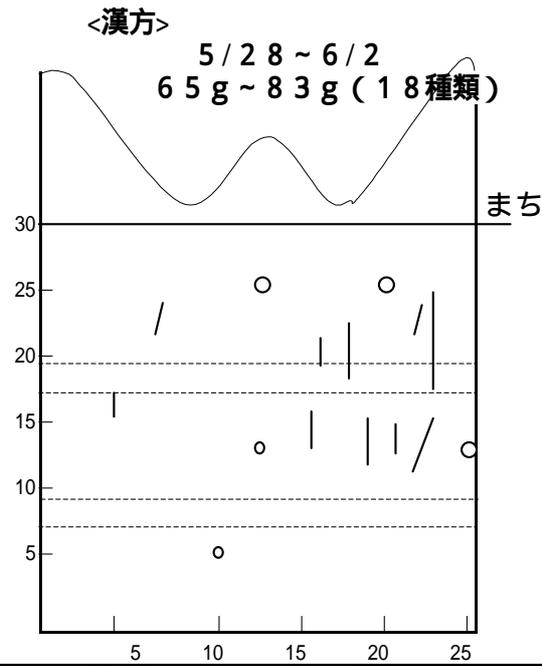
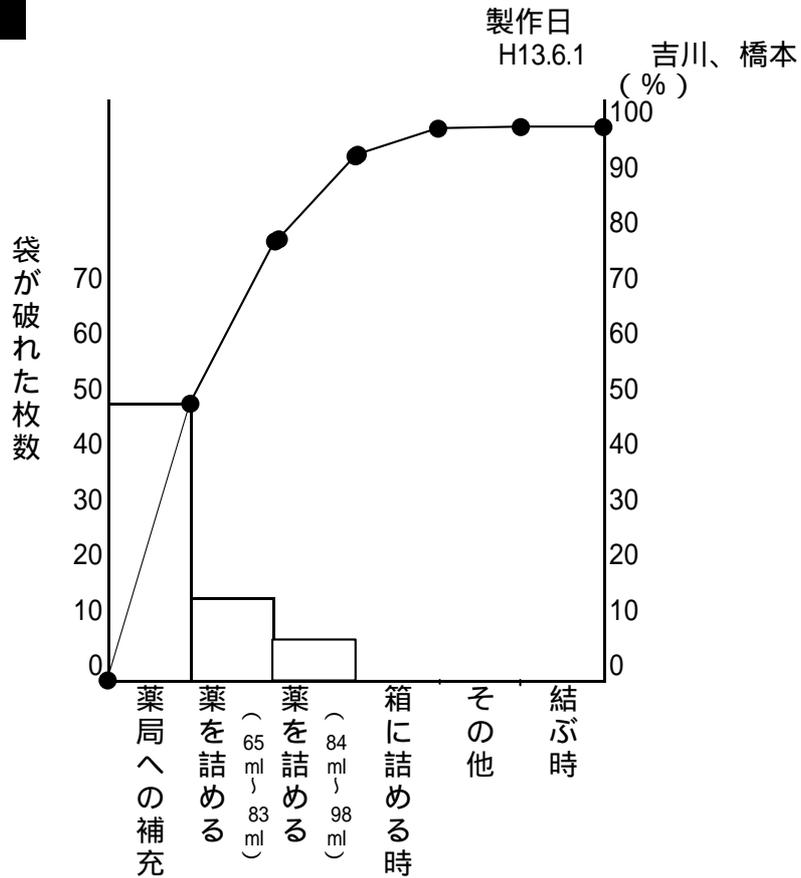




# 現状把握



# 現状把握

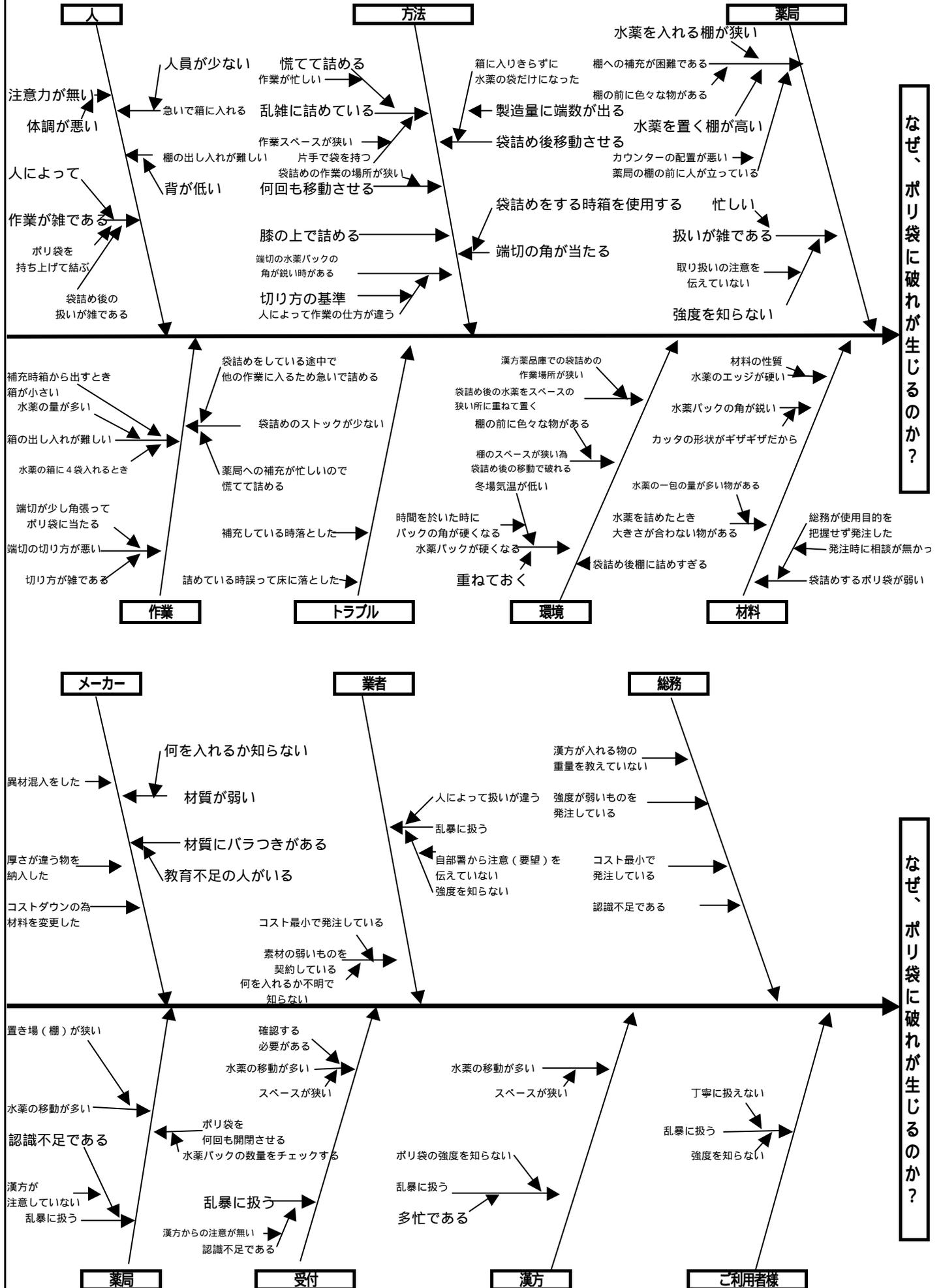


## 4.目標設定

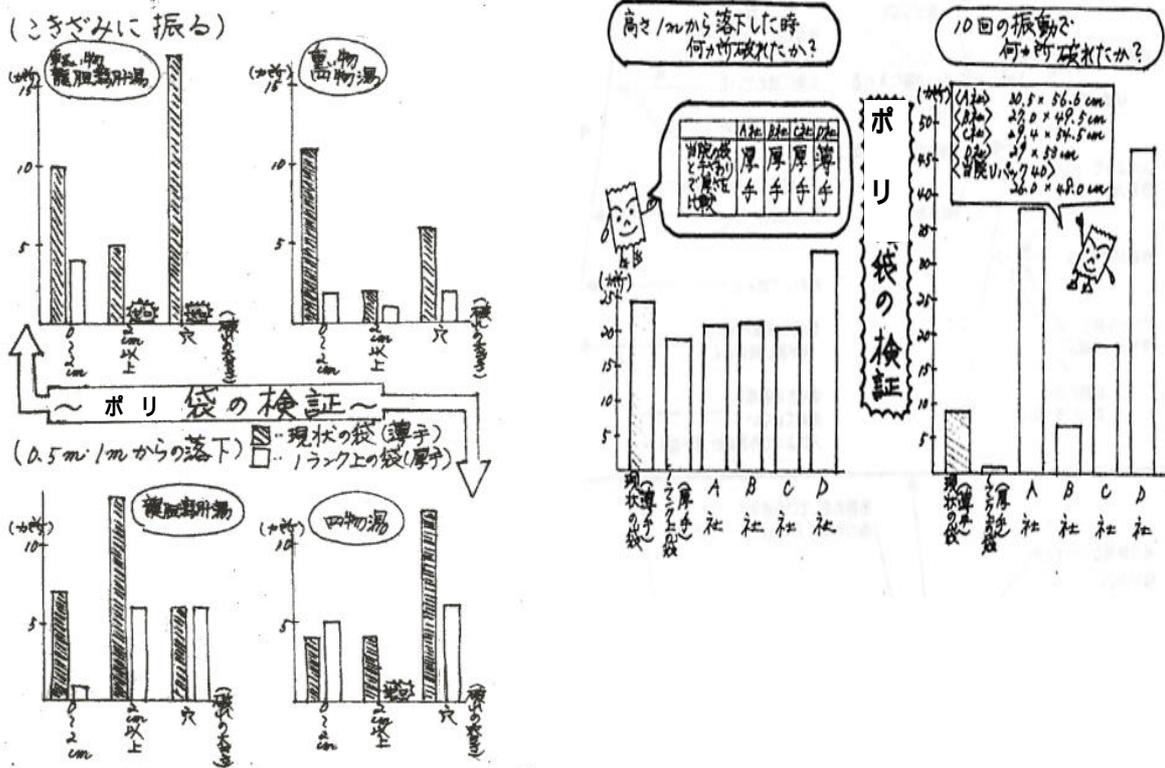
製作日 . H 1 3 . 6 . 1 岡部

何を	どれだけ	いつまで	なぜ
ポリ袋	破れを“0”にす	8月10日まで	ポリ袋の材質が弱く破れやすい

# 5. 要因分析



# 6. 検証



# 7. 対策系統図



得点方法 : 3点 : 2点 : 1点  
 実施ランク A: 実施する B: 実施する C: 今回は見合わせる

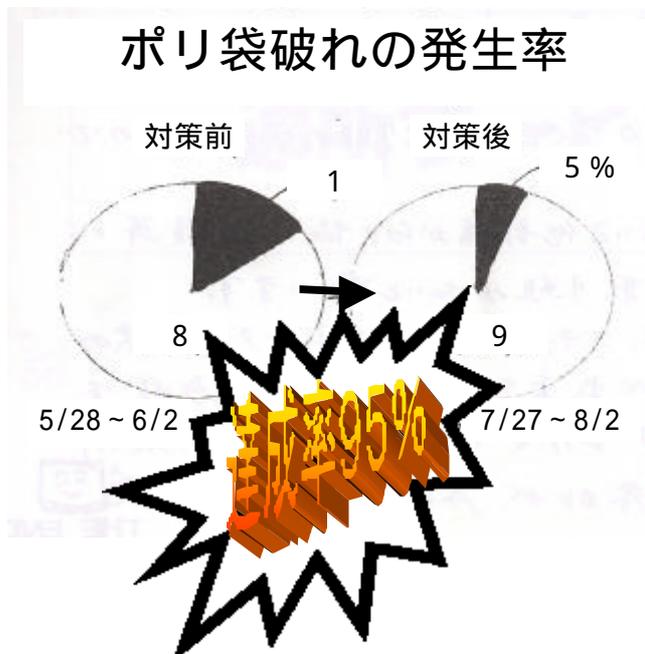
## 8 . 対策実施表

原因	担当	実施対策	時期	結果(どうなったか?)
ポリ袋の素材について勉強していない	全員	業者の方への問い合わせを行う 強度の実験を行う 他社のものと比較する	7/25 ~	厚手のビニール袋一枚あたり3円10銭が5箱購入することにより3円になった。ビニール袋の強度が弱いということが分かった。 振動の実験で当院ビニール袋の方が落下の実験では大きな差はなかった。
人によって切り方がちがう	全員	端切り作業の標準化を決めた	7/25 ~	切り始めと切り終わりを特に注意するはさみだけを動かすのではなく、水薬パックを動かしながら切る
作業が忙しい為雑になる	全員	端切りしたものをチェックする 端切り補助の方へ切り方の基準を指導する	7/25 ~	切り直しもなくなり、作業が丁寧になった
ポリ袋の移動が多い	全員	取り扱いをていねいにする (漢方 薬局 受付) 部署内を整理する	7/25 ~	丁寧に扱うようにしたが、漢方、薬局においては破れが0にはならない

## 9 . 効果の確認

### 9 - 1 有形の効果

作成日 H13年8月10日 作成者 今井



### 9 - 2 無形の効果

- ・端切りを気をつけて切るようになった
- ・水薬、ポリ袋の扱いが丁寧になった
- ・ポリ袋の特性(環境にやさしいなど)がわかった
- ・業者と交渉することでコストも下げることが出来た。

## 10. 歯止め

作成日 H13年8月20日  
作成者 山本

ま～るくカットしま



端切り作業が雑にならない様にハサミの入れ方のポイントを標準化したのでそのポスターを作り部署内に3枚貼りました。

## 11. 反省と今後の課題

作成日 H13年8月27日  
作成者 岡部、山本、土

ステップ	良かった点	悪かった点
テーマ	ポリ袋を使用し、初めての改善となった	
現状把握	御利用者様に対してアンケート用紙をお配し、QCサークル活動の取り組みを知って頂いた事	製造元から詳しい話が聞けなかった
検証	袋の材質・特徴が分かった	データの表し方、まとめ方に手間どった
要因分析	他部署とのかかわりの深さに気づいた	製造元に話が聞けなかった
対策立案 実施	端切り作業の標準化が出来た	スペースの確保が不十分
効果の確認	1つずつの作業が丁寧に、又、意識して行なえるようになった	データの取り方が不十分だった 破れゼロの目標達成に到達出来なかった
歯止め	ポスターを見る事によって意識が喚起される	再考の余地あり

今回のテーマは他部署の協力なくしては、取り組めなかったものでした。今後、QCサークル活動において他部署からの協力、依頼等があった場合にも積極的に取り組みたいとおもいます。2回目のQCサークル活動は、ステップ毎にパートリーダーを決め、全員責任を持って行なう事が出来たと思います。今後は自分のパートリーダーのステップだけでなくQCストーリーの展開も考え、積極的な活動参加が、今後の課題です。